

ピクチャーレール

取扱説明書

この度は **TRUSCO** 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

取扱方法



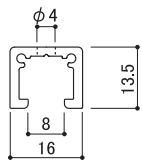
▲ ピクチャーレール
本体商品情報



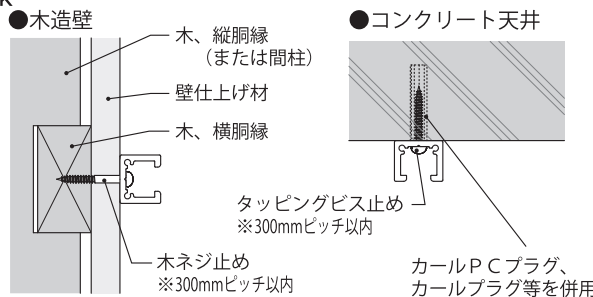
▲ ピクチャーレール用
付属商品情報

ピクチャーレールの取付け方

対象品番：TMCH2-SV, TMCH2-W, TMCH2-BK



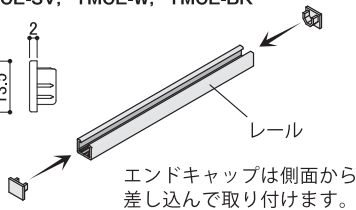
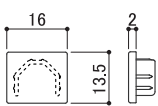
レールにはφ4の穴が開いています(8か所)。
取付けには市販の呼び径3.8の丸頭木ネジ、
または呼び径3.5のナベ頭タッピングビスを
ご使用ください。



- 対象品番：TMCH2-SV
TMCH2-W
TMCH2-BK
TMCE-SV
TMCE-W
TMCE-BK
TMCJ
TMCA-SV
TMCA-W
TMCA-BK
TMCE
TMCY-1510
TMCY-1520

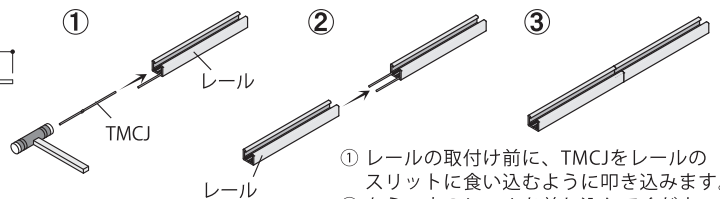
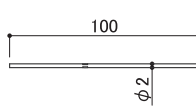
エンドキャップの取付け方

対象品番：TMCE-SV, TMCE-W, TMCE-BK



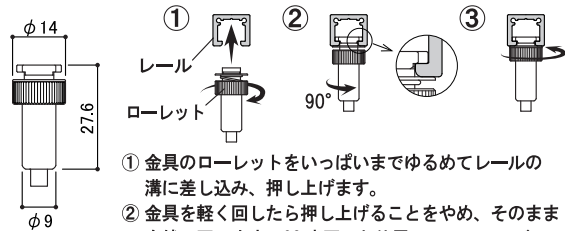
ジョイントピンの取付け方

対象品番：TMCJ



天井用アタッチメントの取付け方

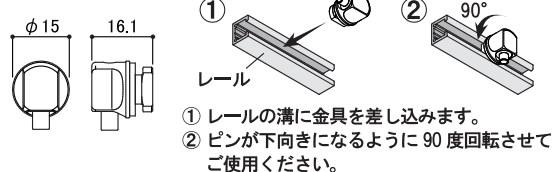
対象品番：TMCA-SV, TMCA-W, TMCA-BK



※必ず金具がレールにしっかりと取付けられていることを確認してご使用ください。

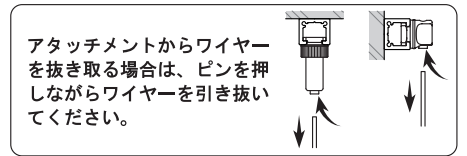
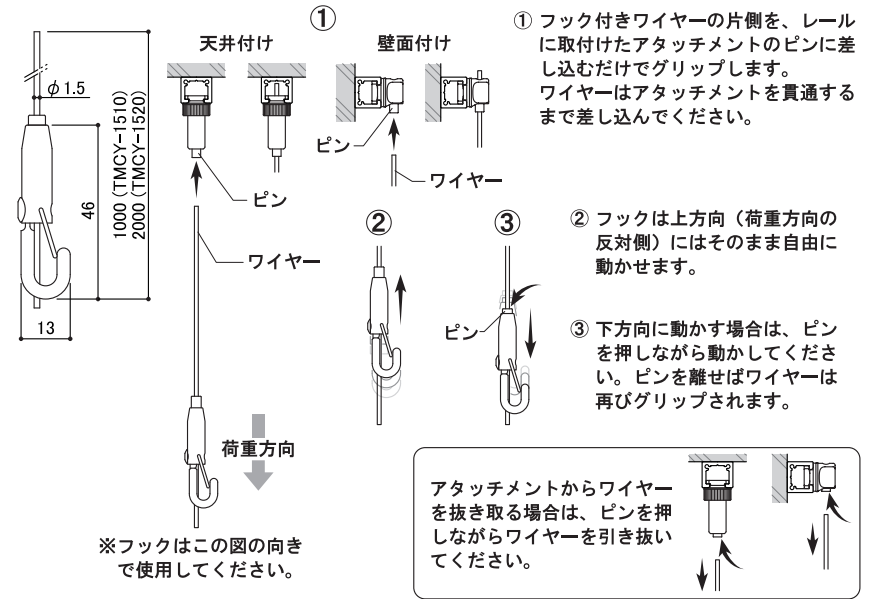
壁面用アタッチメントの取付け方

対象品番：TMCE



フック付きワイヤーの取付け方

対象品番：TMCY-1510, TMCY-1520



許容荷重 30kg / ピクチャーレール 1mあたり

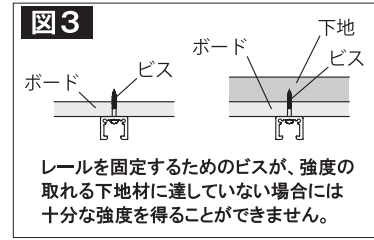
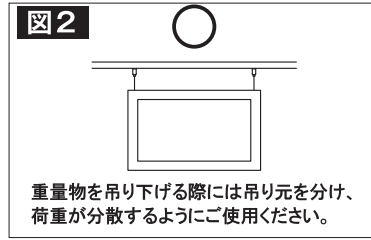
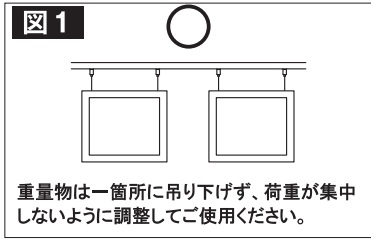
弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。
つきましては、この取扱説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



レールの取付けと使用上の注意事項

ピクチャーレールに関して、下記の事項に注意してください。

- レールの許容荷重は正しく取付けられた場合の1メートルあたりの許容荷重です。一部分に重量が集中しないように調整してご使用ください(図1、図2)。
- レールはビス穴(φ4×8か所、300mmピッチ)を使用して、市販のビスで固定してください。その際、必ず強度のとれる下地、補強材に取付けてください。石膏ボードなどへの取付けだけでは、許容荷重が著しく低下するため大変危険です(図3)。
- ワイヤーが吊る物に接触したり、壁、柱など建築構造物に接触している場合、永年のご使用で傷につき強度低下の原因になります。直接触れないように、ワイヤーの保護をお願いいたします。



注意事項

⚠ 警告

- ・繰り返し荷重や回転力が加わるなど、静止荷重以外の状態ではご使用になれません。
- ・製品を取付ける箇所の強度を確認し、荷重に耐えられるよう適切なサイズのネジやアンカーを使用して確実に取付けてください。
- ・製品はワイヤーに張力が加わる方向にピンが来るように取付けてください(図1)。逆方向に向けて取付けた状態ではワイヤーをグリップできないため落下し、大変危険です。
- ・ワイヤーが金具に十分挿入されていることを荷重をかける前に確認してください(図2)。挿入が不十分な場合、落下によるケガや破損の原因となります。
- ・金具には適合するワイヤー径より細いワイヤーは使用しないでください。ワイヤーが抜ける場合があります。
- ・製品の分解や改造は絶対にお止めください。
- ・ワイヤーには折れ・素線の切断・潰れなど異常がないことをご確認の上ご使用ください(図3)。異常があった場合は使用を中止し、新しいワイヤーにお取り替えください。
- ・製品を故意に強く引張ったり、揺らしたりすると吊り元が破損したり展示物が落下する恐れがあり大変危険です(図4)。お子様が遊んだりしないようご注意ください。
- ・人が乗ったり、ぶら下がるなどの人命に関わる用途には絶対に使用しないでください(図4)。
- ・揺れや荷重の不均等により、1箇所のワイヤーや金具に思わぬ負荷が集中する場合があります。許容荷重には余裕を持って製品をご選定、ご使用ください(図5)。
- ・許容荷重を超えて使用した金具の再使用はお止めください。金具内部の破損などの原因で十分な強度を得られなくなっている場合があります。

⚠ 注意

製品選定・施工上のご注意

- ・吊り下げ作業は事故防止のため、必ず2名以上で行ってください(図6)。
- ・安全のため、必ず指定のワイヤー製品(SUS304・7×7ヨリ)をご使用ください。他社のワイヤー製品を使用した場合、錆や強度低下の原因となる場合があります。
- ・ワイヤーが吊る物・壁・柱など建築構造物に接触しないようにご使用ください。ワイヤーに傷につき強度低下の原因となる場合があります。直接触れないように、ワイヤーの保護をお願いします。
- ・ワイヤーに強い張力が加わっている状態では人が揺らしたり、ぶつかった時の衝撃などで許容荷重を超えてしまう場合があります。人が手を触れる場所でご使用になる際は、危険防止のため許容荷重には余裕を持って製品をご選定いただけるようお願いいたします。
- ・展示物を中空に吊り下げる場合、揺れた時に周囲にぶつかるなどして壁面や展示物が破損する事があります。金具の選定・施工時には展示物の周囲に十分な間隔が取れるよう、余裕を持った配置をお願いします。
- ・先端がほつれたワイヤーは指先などに素線が刺さる場合がありますので、お取扱いには十分ご注意ください(図7)。また、先端がほつれた状態では器具に挿入できなくなりますので、新しいワイヤーにお取替えいただくか、ワイヤーの先端をカットしてご使用ください。
- ・お客様ご自身でカットしたワイヤーを使用する場合、ほつれ防止のためワイヤーの先端にハンダ処理をしてください。
- ・必ずワイヤーを垂直に吊り下げてご使用ください。斜めに吊り下げて使用した場合、製品が破損してしまう恐れがあります。
- ・吊っている対象物を回転させるなど、ワイヤーに常にねじれの力が加わる状態での使用はお止めください(図8)。ワイヤーが金具から抜ける場合があります。

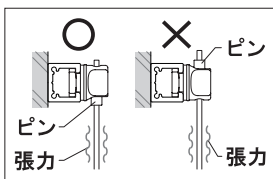


図1

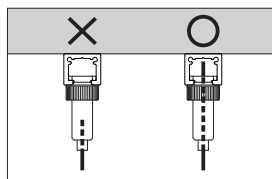


図2

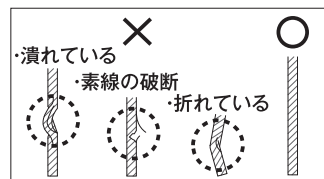


図3

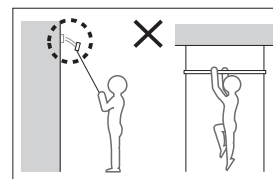


図4

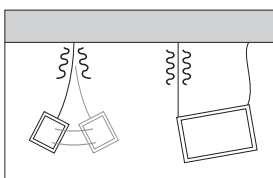


図5

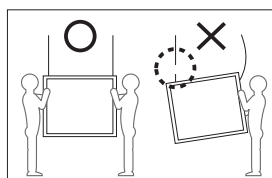


図6

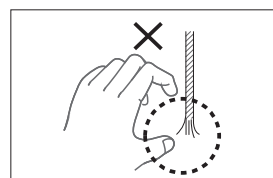


図7

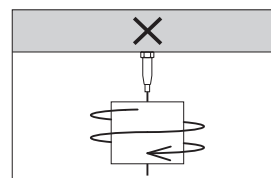


図8

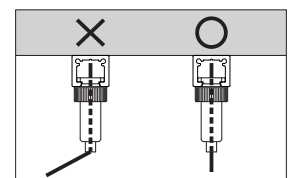


図9

⚠ 使用上のご注意

- ・ワイヤーを張る方向と金具の方向が一直線になるようにして使用してください(図9)。
- ・素手でワイヤーを強く引っ張らないでください。ケガの原因になります。
- ・エクステリア用以外の製品は必ず屋内でご使用ください。
- ・Sタイプ - ストッパーキャップ型の金具を使用する場合、ストッパーキャップは必ず締付けてご使用ください。
- ・取付けた棚やパイプに商品などを載せると、重量による伸び等のためワイヤーの張りがゆるむことがあります。その場合、再度床側の金具でワイヤーを張り直してゆるみを取ってください。
- ・施工時に使用前の金具内部にワイヤーの切りクズや塵などが詰まったり、永年のご使用により内部にホコリが溜まるなどの要因により、金具がスムーズに動かなくなる場合があります。その場合、使用を中止し新しい金具への交換をお願いします。
- ・カタログに記載された各製品の使用例をご参照の上ご使用ください。また、使用方法についてご不明な点がございましたら販売元までお問い合わせください。
- ・ご使用に際しては必ずお客様にて事前に仕様確認を行い、使用目的に適合するかどうかをご確認ください。